

柔道整復実技Ⅳ（下肢①）		実技	講師 木下 美聡	
科目カテゴリー	柔道整復師コースの専門選択科目	科目ナンバリング	12371301	

1. 授業のねらい・概要

本講義では、下肢の骨損傷の概論、部位別の下肢骨折の発症メカニズム、修復メカニズムの理論を基礎とし、骨盤骨折、大腿骨頸部骨折、大腿骨骨幹部骨折、大腿骨顆部骨折、膝蓋骨骨折、脛骨顆部骨折、脛骨骨幹部骨折、足関節果部骨折、足根骨骨折、趾骨骨折の整復法、固定法について実技により学んでいく。

2. 授業の進め方

解剖学、機能解剖学を復習しながら、整復・固定の実技を習得していきます。教員がまず各課題への見本を示し、その手順を繰り返し練習することにより技術の習得を目指します。臨床現場で経験することが多い下腿・足部周辺の骨折には特に注意を払って解説を行っていきます。学生は、実習着を着用し、各自、教科書で内容を確認しながら、自身のノートを作成してください。

3. 授業計画

1. 概説と授業の進め方	9. 足関節周囲の機能解剖と触診
2. 大腿部の解剖、機能解剖と触診	10. 果部骨折（整復と固定）
3. 大腿骨頸部骨折（整復と固定）	11. 踵骨体部骨折（整復と固定）
4. 大腿骨骨幹部骨折（整復と固定）	12. 中足骨の骨折①（整復と固定）
5. 膝周囲の解剖、機能解剖と触診	13. 中足骨の骨折②（整復と固定）
6. 膝蓋骨骨折（整復と固定）	14. 足趾の骨折（整復と固定）
7. 下腿部の解剖、機能解剖と触診	15. 実技テスト（下肢骨折）
8. 下腿骨骨幹部骨折（整復と固定）	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

①授業計画に従って予備知識習得を1時間程度行ってください。（教科書を読み、学習キーワードをチャート式にまとめると良い）

②各单元ごとに実施する確認テストのための学習（各单元ごとに学習した内容の復習）を30分～1時間程度行ってください。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

①授業内に確認テストを行い、前回までの授業キーワードを説明します、そのことにより知識と技術の融合をはかります。

②定期的に提出頂くレポート（3～4回分の授業終了後）に対してコメントを致します。そのコメントにより知識と技術の定着をはかります。

6. 授業における学修の到達目標

下肢骨折のそれぞれのタイプ別による整復、固定ができるようになる。

7. 成績評価の方法・基準

レポート（25%）、確認テスト（25%）、実技テスト（50%）を基準として総合的に評価する。

8. テキスト・参考文献

柔道整復学・実技編 改訂第2版、全国柔道整復学校協会監修、南江堂

9. 受講上の留意事項

- 1) 本講義は、対面で行いますが、補助教材は学生のメールアドレス、あるいは、google classroom に一斉送信することがあります。その際は、それぞれプリントアウトして利用してください。
- 2) 提出物は、指定された様式にて提出してください。(提出物には必ず、所属、学籍番号、氏名等の連絡先の記入をお願いします。)
- 3) 教員へのコンタクト方法：教員への直接の質問は授業後、又はオフィスアワーで受け付けます。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本授業は、医療機関における実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。